

科目名	学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位	
国語 I (現代文・古文) : Japanese I	1ME	2	90分×30回	履修	講義・通年	—	
教員名	赤迫 照子 : AKASAKO Shoko						
授業概要	検定教科書に掲載の現代文・古文を読む。音読・読解・鑑賞することを通して、基礎的な言語能力を習得する。参考資料を活用して、言語文化への関心を深める。1年間を通じて漢字テストや読書活動に取り組む。						
到達目標			評価方法				
(1)読む力: 文法事項を理解し、作品を読解する。漢字の読みを学習する。読書の習慣をつける。 (2)書く力: 作品の構造をふまえながら、授業ノートを作成する。自分の考えを論理的な文章で表現する。漢字の書き取り学習をする。読書感想文を書く。 (3)話す力: 適切に音読をする。根拠を明示しながら自分の意見を述べる。 (4)聞く力: 授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理する。			①中間・期末試験(60%)、②小テスト・レポート等の提出物(20%)、③口頭試問(15%)、漢字テスト(5%)とする。				
学習・教育目標		(G)	JABEE基準1(2)				
授 業 計 画	回	項目	内 容		回	項目	内 容
	第1	ガイダンス 評論(一)①	シラバスを熟読し、授業概要・到達目標・授業計画等を理解する。 山崎正和「水の東西」を通読する。		第16	評論(二)①	内山節「自然と人間の関係をとおして考える」を読み、読解する方法を学習する。
	第2	評論(一)②	山崎正和「水の東西」を読み、評論文を読解する方法を学習する。		第17	評論(二)②	
	第3	評論(一)③			第18	評論(二)③	
	第4	古文入門「宇治拾遺物語」①	「絵仏師良秀」を読み、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。		第19	日記「土佐日記」①	「門出」を読み、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。
	第5	古文入門「宇治拾遺物語」②			第20	日記「土佐日記」②	
	第6	随筆「徒然草」①	「つれづれなるままに」「高名の木登り」を読み、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。		第21	和歌①	「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」等の和歌を読み、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。
	第7	随筆「徒然草」②			第22	和歌②	
	第8	中間のまとめ	中間のまとめとして試験を実施する。		第23	中間のまとめ	中間のまとめとして試験を実施する。
	第9	小説①	芥川龍之介「羅生門」を読み、小説を読解する方法を学習する。		第24	日本語①	俵万智「短歌を訳す—言葉の壁を越えて」を読み、言語文化への関心を深める。 レポート作成に取り組む。
	第10	小説②			第25	日本語②	
	第11	小説③			第26	詩	中原中也「一つのメルヘン」を読み、詩を味わう方法を学習する。
	第12	国語表現	手紙の書き方を学習する。		第27	軍記「平家物語」①	「木曾の最期」を読み、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。
	第13	物語「伊勢物語」①	「あづま下り」「筒井筒」を読み、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。		第28	軍記「平家物語」②	
	第14	物語「伊勢物語」②			第29	軍記「平家物語」③	
第15	物語「伊勢物語」③	第30			まとめ	1年間の学習事項のまとめを行う。授業評価のアンケートを実施する。	
自学自習の内容	次授業のために、授業ノートを準備する。レポートを作成する。						
関連科目							
教科書	精選 国語総合(大修館)						
参考書	『ステップアップ高校漢字問題集』東京書籍 『カラー版新国語便覧』第一学習社						
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員							
備考	国語 I (3単位) の最終評価は、国語 I (現代文・古文) と国語 I (漢文) を2:1として評価する。						

科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
国語 I (漢文) : Japanese I		1ME	1	50分×30回	履修	講義・通年	—
教 員 名		畑村 学 : HATAMURA Manabu					
授業概要	教科書に掲載の漢文を中心に、1年間を通じて漢文を読む。 漢文教材を読むことを第一の目的としながら、コミュニケーションスキルである「話す力」「聴く力」「書く力」「読む力」及び「図解力」の基本的な習得を目指す。 授業ではレポート課題をほぼ毎回出す。課題をこなしていくことで到達目標の定着をはかる。						
到達目標				評価方法			
(1) 基本的な漢文の文法が理解できる。漢語の語彙を増やし、現代日本語の表現に応用できる。 (2) 作品を読解・分析することで、漢文作品を鑑賞する力が身に付く。 (3) 基本的な「話す力」「聴く力」「書く力」「読む力」及び「図解力」といったコミュニケーションスキルが身に付く。				評価方法は、 ①定期試験(中間・期末試験)、②レポート・提出物・発表により評価する。 各評価は、 ①定期試験60%、②レポート等40%とし、4回の評価の平均を学年末の成績とする。			
学習・教育目標		G①		JABEE基準1(1)			
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス	国語の授業概要・到達目標・成績評価方法等をシラバスを中心に説明し、一年間の授業内容を理解する。	第16	漢文とプレゼンテーション①		
	第2	漢文の読解と図解①	教科書掲載の漢文を読解する。 具体的には、以下の漢文を扱う予定である。	第17	漢文とプレゼンテーション②	漢文のなかから、個人・グループで担当する箇所を1つ決め、それを調べてプレゼンテーションを行う。具体的な作業としては、下記の通りである。	
	第3	漢文の読解と図解②		第18	漢文とプレゼンテーション③		
	第4	漢文の読解と図解③	〇格言 〇故事成語 〇先從隗始 〇鷄鳴狗盜 〇臥薪嘗胆	第19	漢文とプレゼンテーション④	〇各自・各グループで担当する漢文・漢詩を調査する。調査は所定のフォーマットに従って記録する。 〇調査したことについて、図解資料にまとめる。図解資料は、前期の授業を踏まえて作成する。 〇図解資料をもとに、プレゼンテーションを行う。	
	第5	漢文の読解と図解④		第20	漢文とプレゼンテーション⑤		
	第6	漢文の読解と図解⑤		第21	漢文とプレゼンテーション⑥		
	第7	漢文の読解と図解⑥	内容やテーマ、話の構成を図解することで、基本的な図解の仕方を理解する。 また、レポート課題として、身のまわりの事象や比較的短い文章を図解し、図解力を向上させる。	第22	漢文とプレゼンテーション⑦	〇他者・他グループのプレゼンテーションを審査表に基づいて評価する。	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	漢詩の読解と図解①	教科書掲載の漢詩を読解する。 具体的には、以下の漢詩を扱う予定である。	第24	思想教材と意見文①	教科書掲載の思想教材を読解する。 具体的には、以下の文章を扱う予定である。	
	第10	漢詩の読解と図解②		第25	思想教材と意見文②		
	第11	漢詩の読解と図解③	〇杜甫「絶句」 〇王之涣「登鶴鶴樓」 〇柳宗元「江雪」 〇李白「春夜洛城聞笛」 〇王維「送元二使安西」 〇杜牧「山行」 〇杜甫「春望」 〇白居易「香爐峰下新卜山居草堂初成偶題東壁」	第26	思想教材と意見文③	文章に書かれていることを理解した上で、書かれていることに対する「意見文」を、200～400字で書く。例えば、孔子や孟子の考え方に対して、自分は賛成か反対か、賛成であればなぜ賛成なのか、その根拠をいくつかに絞って示しながら、自分の意見を論理的に述べる。また、書かれていることを今の社会に置き換えた場合、どのような状況が当てはまるか、常に現代の問題として考える習慣を身につける。	
	第12	漢詩の読解と図解④		第27	思想教材と意見文④		
	第13	漢詩の読解と図解⑤		第28	思想教材と意見文⑤		
	第14	漢詩の読解と図解⑥	詩の内容やテーマ、表現の特徴を図解することで、応用的な図解の方法を理解する。 また、レポート課題として、身のまわりの事象や文章を図解し、図解力を向上させる。	第29	思想教材と意見文⑥	全体の学習事項のまとめを行う。 授業評価アンケートを行う。	
第15	漢詩の読解と図解⑦	第30		まとめ			
自学自習の内容	レポートの完成度や提出状況などで判断する。						
関連科目							
教科書	精選国語総合 大修館書店						
参考書	カラー版新国語便覧(第一学習社)						
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員							
備考	プリントをファイルするバインダー等を各自準備。授業時や休憩時間に読む本を必ず持参すること。						